

ストヲ其好意ヲ謝シ引取りタリ

(五月十二日)

十三日午前十時友愛會西屋未廣、賀川豊彦、藤岡文六ノ三名ハ田中敬言、寮部長ヲ府廳ニ訪問、大電争議ノ解決方ニ関シ、談話ハ所アリ、尤ノ内容ヲ存スル團體交渉權及犠牲者ヲ出サレルコトノ二項ミシテ認容セラルルニ於テハ田中ナル終局ヲ告ケ度キニ依リ當局ヲ通シテ會社ノ真意ヲ確メラシタシトノ主見、御向ヲ洩セリ、仍ソテ部長ハ會社側ノ内意ヲ亂スニホシノ事、受リ多少讓歩ノ餘地ヲ存スル如ク思惟セラルルモ、團體交渉權ノ如キリ、目下動搖シツハアル状態ノ沈靜ヲ俟ツテ後熟考シタシトノ主張ヲ固執シテ、ハマス兩者ノ意見嚮ニ尚距離ノ存スルアリ、遂ニ意見ノ接近ヲ見ルニ至ラザリキ

ハ 團體交渉權

(一) 労働条件ニ就テハ労働團體ニ交渉シ組合員個人ニハ

一切交渉セサルコト

但シ労働条件ニ就テハ其都度交渉委員ト協議決定スルコト

(二) 労働團體トハ会社内ニ於テ労働者百人以上ヲ以テ

組織セル労働者ノ自治体ヲ云フ

(三) 会社内ニ数箇ノ團體アル場合ハ各個別ニ交渉スルコト

(四) 会社内ニ於テ團體ニ加入セサルモノアルトキハ各個人

別ニ交渉スルコト

(五) 交渉不調ト雖モ二週ヲ以テ相互共最良ノ手段

ニ出テサルコト

ニ 犠牲者ニ就テ